

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和2年度）

1. 施設名等

| | | | |
|-----|-------------------------------------|--------|---|
| 施設名 | 大分県県民の森施設 (青少年の森、平成森林公園、神角寺展望の丘) | 所在地 | 大分市大字廻栖野 外 |
| | | 電話番号 | 097-588-0656 |
| | | ホームページ | https://oita-kenmori.jp/ |

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

| | | | | |
|-------|-------------------|--|-----------------|-------------------------------------|
| 指定管理者 | 名称 所在地 指定期間 | 公益財団法人 森林ネットおおいた 大分市花園二丁目6番46号 平成31年4月1日～令和6年3月31日 | 県の所管部課 (局・室) | 農林水産部 森との共生推進室 TEL: 097-506-3873 |
|-------|-------------------|--|-----------------|-------------------------------------|

3. 施設の概要

| | |
|-------|---|
| 設置年月日 | 昭和60年 3月30日 |
| 設置根拠 | 大分県県民の森における公の施設の設置及び管理に関する条例 |
| 設置目的 | 森林の持つ優れた自然を生かして、保健、休養及びレクリエーションの場を提供し、森林に関する学習活動を促進し、その他森林の利用を増進することにより、県民の健康的な生活の確保を図るとともに、森林に関する県民の理解を深める。 |
| 事業内容 | <p>(青少年の森)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林及び林業に関する青少年の学習活動の指導を行うこと ・自然観察、オリエンテーリングその他青少年の野外活動の指導を行うこと ・森林レクリエーションに関すること <p>(平成森林公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車道、多目的広場等の施設を提供すること ・森林レクリエーションに関すること <p>(神角寺展望の丘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香りの森、香りの広場、キャンプ場、遊歩道、多目的広場等の施設を提供すること ・森林レクリエーションに関すること ・展望台、遊歩道、多目的広場等の施設を提供すること |
| 施設内容 | <p>青少年の森 … 展示館(480m²)、サイクリングセンター(311m²)、樹木園(9.5ha) 外</p> <p>平成森林公園… 香りの森(13.4ha)、香りの広場(1.27ha)、さくら園(4.18ha)、 全国植樹祭記念広場(1.5ha)、キャンプ場(1.7ha) 外</p> <p>神角寺展望の丘…展望台(44m²)、ハイキング道(9,595m) 外</p> <p>その他 … 林道(41,975m)、サイクリング道(2,598m)</p> |
| 使用料等 | <p>(青少年の森)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車：一般310円、小中学生210円 ・レクチャールーム：(展示館)半日1,250円、一日2,500円、(サイクリングセンター)半日2,700円、一日4,700円 <p>(平成森林公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ入村者：一般420円、小中学生210円 ・テント：1,250円～4,350円、コテージ：11,000円、バンガロー：6,600円、ツリーハウス5,500円 |
| 閉館日 | 毎週火曜日（火曜日が休日の場合は翌日） 年末年始及びお盆（12月28日～1月4日、8月14日～8月15日） |

4. 目標指標の達成状況

| 指標 | 年度 | 目標数値 | 実績 | 達成率(%) |
|----|--------|-------|-------|--------|
| | 平成29年度 | 2,000 | 3,738 | 186.9% |
| | 平成30年度 | 2,000 | 4,959 | 248.0% |
| | 令和元年度 | 3,800 | 5,872 | 154.5% |
| | 令和2年度 | 3,850 | 3,589 | 93.2% |

5. 施設の利用状況

| | | | | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 利用者数(人) | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
| | 平成29年度 | 37,959 | 20,175 | 16,014 | 10,474 | 11,242 | 9,707 | |
| | 平成30年度 | 34,710 | 18,171 | 15,344 | 9,511 | 12,459 | 9,850 | |
| | 令和元年度 | 28,126 | 15,543 | 12,141 | 13,441 | 7,053 | 13,614 | |
| | 令和2年度 | 21,279 | 13,708 | 11,738 | 7,446 | 8,629 | 7,181 | |
| | 年度 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
| | 平成29年度 | 7,851 | 16,511 | 8,145 | 6,139 | 6,121 | 12,016 | 162,354 |
| | 平成30年度 | 12,432 | 17,315 | 10,274 | 7,597 | 9,294 | 14,389 | 171,346 |
| | 令和元年度 | 13,817 | 16,729 | 9,767 | 7,072 | 9,232 | 6,182 | 152,717 |
| | 令和2年度 | 15,199 | 19,198 | 11,538 | 9,487 | 11,228 | 13,748 | 150,379 |

6. 利用者満足度調査等の実施状況

| | | |
|-------------------------|------|--|
| 利用者満足度調査 | 実施方法 | イベント参加者及びキャンプ場等利用者に調査用紙を配布しアンケート調査を実施した。 回答数 イベント:661、キャンプ場:220、レンタサイクル:86 |
| | 実施結果 | 利用者アンケート調査での結果 ・イベント・・・「満足」53%、「ほぼ満足」25%、「普通」14%、「やや不満」6%、「不満」1%、「無回答」1% ・キャンプ場・・・「満足」75%、「ほぼ満足」22%、「普通」3%、「やや不満」0%、「不満」0% ・レンタサイクル・・・「満足」79%、「ほぼ満足」19%、「普通」1%、「やや不満」1%、「不満」0% キャンプ場とレンタサイクルは「満足」「ほぼ満足」が97%以上と非常に高い満足度である。イベントについては「満足」「ほぼ満足」が80%と「やや不満」「不満」が7%であり、その原因として、ラベンダー観賞会でのあまり花が咲いていなかったこと、摘み取りができなかったこと、臨時駐車場からの徒歩の距離が長いことが意見の多数を占めている。(次回は時期の調整及び感染症対策を行いながらの改善を検討・実施) |
| 利用者等からの主な意見・要望・苦情 | | 左の対応状況 |
| コロナ感染症防止に係る施設利用休止はいつまでか | | 施設利用の休止・再開やイベントの中止・参加制限をホームページやSNSで即座にお知らせした。 |
| 地図を見ても施設の場所がわかりにくい | | スマホ上で現在地を表示し、通常のナビではわかりづらい経路も表示される新たなデジタルマップを導入した。 |
| 桜の開花状況を知らせて欲しい | | 開花状況をよりわかりやすくするために、ホームページの開花状況を写真に加えドローン撮影による動画をアップした。 |
| トイレの鍵が閉まりづらい | | 潤滑剤を吹き付け対応。 |
| | | |

7. サービス向上に係る主な取組内容

| | |
|-------------|---|
| サービス提供体制の強化 | ① 日曜日もキャンプ場に宿泊したいとの声に応えるため、定休日を月曜から火曜日へ変更した。 |
| | ② 利用者の利便性を高めるため、ホームページのスマホ対応やスマホ上で現在地を表示し、通常のナビではわかりづらい経路も表示される新たなデジタルマップの導入などを行った。 |
| | ③ 施設の利用休止・再開情報、サクラの開花、紅葉の進み具合をはじめ、キャンプ場の予約状況など利用者の方が欲しい情報をできるだけ細やかにタイムリーにインターネットで提供するように努めた。 |
| | ④ 青少年の森キャンプ場の廃止に伴い、不要となった森林学習展示館の宿直室の有効利用を図るため、フォトコンクール等の写真展示ギャラリーとして「森林のカフェ」を開設し、施設利用者への憩いの場として提供している。 |

| | |
|----------|---|
| イベント等の充実 | <p>① コロナ禍でも安心して参加できるように、車を使ったクイズラリーを新たに企画し実施した。また、新たに導入したデジタルマップの利用を必須とすることで利用者へのデジタルマップの周知及び活用を促した。</p> <p>② コロナ禍の6月に行ったラベンダー観賞会では感染症対策を徹底し、利用者へ周知することで例年並みの約1,800人が参加した。</p> <p>③ 屋内のイベントでは密にならないように利用人数を減らす等の感染症対策を徹底した上で開催した。</p> |
|----------|---|

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 収入額(A) | | 86,013 | 87,654 | 87,712 | 86,473 |
| 内 訳 | 県からの委託料 | 81,103 | 81,921 | 81,323 | 82,199 |
| | 使用料金 | 2,868 | 3,365 | 4,281 | 2,277 |
| | サービス改善提案事業収入 | 540 | 540 | 545 | 297 |
| | 自主事業収入 | 1,479 | 1,828 | 1,529 | 1,700 |
| | その他(自己財源、雑収入) | 23 | 0 | 34 | 0 |
| 支出額(B) | | 86,013 | 87,654 | 87,712 | 86,204 |
| 内 訳 | 人件費 | 27,574 | 28,816 | 30,196 | 29,134 |
| | 維持管理費 | 51,035 | 49,903 | 47,841 | 50,917 |
| | 事業費 | 2,386 | 2,700 | 3,483 | 1,809 |
| | 自主事業費 | 1,410 | 2,306 | 1,365 | 1,770 |
| | サービス改善提案事業費 | 630 | 564 | 546 | 297 |
| | その他(使用料金、事務費) | 2,978 | 3,365 | 4,281 | 2,277 |
| 収支差額(A-B) | | 0 | 0 | 0 | 269 |

9. 施設使用料等の収入状況

| | | | | | | | | |
|----------|--------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|
| 使用料金(千円) | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
| | 平成29年度 | 225 | 621 | 83 | 530 | 890 | 129 | |
| | 平成30年度 | 360 | 501 | 173 | 571 | 911 | 330 | |
| | 令和元年度 | 546 | 697 | 236 | 588 | 1,135 | 313 | |
| | 令和2年度 | 17 | 148 | 164 | 395 | 417 | 447 | |
| | 年度 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
| | 平成29年度 | 135 | 185 | 7 | 8 | 14 | 41 | 2,868 |
| | 平成30年度 | 162 | 245 | 18 | 32 | 21 | 41 | 3,365 |
| | 令和元年度 | 376 | 260 | 45 | 26 | 58 | 1 | 4,281 |
| | 令和2年度 | 291 | 229 | 29 | 22 | 60 | 58 | 2,277 |

10. 指定管理者の管理体制

| | | | | | | | | |
|--------|--------------|------|-----|----|--------|------|-----|----|
| 施設管理体制 | | | | | | | | |
| | 職員数 (R2.4.1) | 正規職員 | パート | 嘱託 | 他社から派遣 | 臨時職員 | その他 | 合計 |
| | 2 | | | | | 5 | | 7 |

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

| | |
|-------------|--|
| 職員の資質・能力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ① 食品衛生に関する知識取得のため、食品衛生管理者講習へ職員を参加させた。 ② 人権と働き方についての理解を深めるため、企業・団体啓発リーダー養成講座へ職員を参加させた。 ③ 伐木の技術向上及び安全作業への意識向上のため、伐木等業務に関する特別教育の補講に職員を参加させた。 ④ 先端技術の活用を図るため、ドローン航空学校へ職員を参加させた。 |
| 防災に関する研修・訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ① 万一の火災や災害時に慌てず適切に利用者の安全確保ができるよう、全職員を対象に消火訓練を実施した。 ② 防災に関する意識や知識の向上のため、防火管理講習へ職員を参加させた。 |
| 安全対策等 | <ul style="list-style-type: none"> ① 感染症予防対策として、施設及び貸自転車等の利用後は使用前後の消毒を実施し、社会的距離の確保・検温・換気を行い利用者の安心安全に努めた。 ② 敷地内のスズメバチの巣の調査・除去を行い利用者の事故防止を図った。 ③ 各イベント前に事前点検を行い、万一の事故に備えて衛生従事者及び緊急車両を指定した。 |